

会 議 録

会 議 名	令和元年度野田市要保護児童対策地域協議会第1回代表者会議
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 野田市要保護児童対策地域協議会の役割について(公開) 2 平成30年度活動報告及び啓発活動実績について(公開) 3 令和元年度活動計画及び啓発活動について(公開) 4 平成30年度の児童虐待について(公開) 5 野田市児童虐待事件再発防止合同委員会について(公開) 6 野田市における要保護児童の事例検討について(非公開)
日 時	令和元年5月16日(木) 午後2時00分から午後3時20分まで
場 所	保健センター3階 大会議室
出席委員氏名	二瓶一嗣、松本良二、廣瀬哲也、森一貴、直井誠、平野紀幸、長妻美孝、渡辺隆、戸邊敦子、大瀧奈緒、岡田一芳、長谷川志乃ぶ、茂木寿美子、海老原博、内田茂子、高橋澄江、太田央子、眞島由起子、鈴木洋子、横川しげ子
欠席委員氏名	木村ひろ子、大保一成、高橋峯生、小松栄
事 務 局	鈴木有(市長)、今村繁(副市長)、小林利行(児童家庭課長)、寺田一雄(児童家庭課主幹)、松本和博(児童家庭課長補佐)、高塚和枝(児童家庭課児童相談係長)、金盛雄太(児童家庭課児童相談係主任主事)、大平秀雄(児童家庭課児童相談係主任主事)
傍 聴 者	無し
議 事	野田市要保護児童対策地域協議会第1回代表者会議の会議結果(概要)は次のとおりである。
児童家庭課長	<開会> 令和元年5月16日(木)午後2時00分、開会を宣言した。会議を公開とすることを説明した。議題により、特定の個人が識別され、個人の利益が害されるおそれのあるものについては非公開、それ以外の議題については公開とすることを説明した。会議録作成のため、録音機を使用することについて了解を得た。
市長	<挨拶>
岡田会長	<挨拶>
渡辺副会長	<挨拶>
出席委員	<各委員から自己紹介>

岡田会長	議題1 野田市要保護児童対策地域協議会の役割について説明を求めた。
児童家庭課課長補佐	<資料1 「野田市要保護児童対策地域協議会の役割について」により説明する。>
岡田会長	議題1について、委員に意見を求めた。
松本委員	実務者会議で市に通告のあった全てのケースについて進行管理台帳をつくり、検討されているということですが、わかりやすいように、リスクに応じての点数だとか評価等は、どのようにされているのでしょうか。
児童家庭課長	進行管理台帳は、要対協で管理している全ての児童の状況をまとめたもので、管理し始めてからそれ以降の経過等の記録を書き込んでいるものです。 個別の資料として緊急度等をアセスメントしたものがございますが、進行管理台帳の中ではそこまでの記載はございません。
副市長	補足させていただきます。実務者会議では、要対協で管理するすべての案件について、毎月、審議することになっております。しかしながら件数が200件を超え、今では250件を超えておりますので、すべて検討するというわけにはいきません。 事件が起こる前までは月2時間程度でやっていたのですが、経過報告が主で、20数件について特出しして経過報告をし、他は記録を配布しておりました。 事件後、実務者会議についても見直しを行い、経過報告よりも、リスクに応じて支援計画を立てていくという形にしようということで行っております。そのため、会議時間は3月、4月とも6時間以上会議がかかる状況になっております。 それでも議論、支援計画までとなると20件程度しかできませんので、よりリスクの変化があるものについては必ず俎上に上げる、議論をする等、絶えず見直しを行います。まだ改革の途中ということでご理解をいただきたいと思います。 また、会議時間がかかり過ぎているため、簡潔にし、短い時間でしっかりリスクを把握して支援計画を立てる、そのような会議を目指しております。
岡田会長	議題2 平成30年度活動報告及び啓発活動実績について説明を求めた。
児童家庭課課長補佐	<資料2 「平成30年度野田市要保護児童対策地域協議会活動報告」により説明する。>

岡田会長	<p>議題 2 について、委員に意見を求めた。 < 質疑なし ></p> <p>議題 3 令和元年度活動計画及び啓発活動について説明を求めた。</p>
児童家庭課課長補佐	<p>< 資料 3 「令和元年度野田市要保護児童対策地域協議会の年間事業計画」により説明する。 ></p>
岡田会長	<p>議題 3 について委員に意見を求めた。</p>
松本委員	<p>啓発活動により、虐待の通報が増えたのかという点と、今回の事件でDVが関係していたこと、DV自体が子供に対する虐待であり、児童虐待では非常にDVの頻度が高いなどと言われておりますが、この会議の中にDVの関係の人がいないように見受けられるため、そういう方も入れたらいいのではと思うのですが、その点についての2点についてお願いします。</p>
児童家庭課長	<p>今回の事件を受け、すぐにできることということで、「189」という虐待に関する通報の窓口の電話番号、こちらのポスター、パンフレットにつきまして、全戸配布という形で対応しております。</p> <p>これが直接ではないと思うのですが、当然このような今回事件がありましたので、学校を通して、あるいは市民の方から気になる方がいますというようなことで、以前より虐待の通報件数等は、増えている状況になっております。</p> <p>DV関係につきましては、面前でDV等を行った場合は心理的虐待という形になります。また、児童家庭部の人権・男女共同参画推進課がDVを所管しており、児童家庭部長がこの会議の委員になっていることから、DVの関係の者もこの会議のメンバーとなっております。</p>
副市長	<p>実務者会議は、事件が起こる前は固定的なメンバーで行っていましたが、健康福祉センターが関係する精神の疾患の方のケースがある際には、柔軟に委員として参加していただけるようにしましたので、今後案件によっては、個別支援会議だけでなく、実務者会議の方に参加いただくこともあると思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
岡田会長	<p>議題 4 平成30年度の児童虐待について説明を求めた。</p>
児童家庭課課長補佐	<p>< 資料 4 「平成30年度の野田市における児童虐待について」により説明する。 ></p>

岡田会長	議題 4 について、委員に意見を求めた。
松本委員	核家族化が進み、子育てをどう支援していくかということが非常に大きな問題となっております。以前は保健所が母子保健もメインにやっておりましたが、今は市町村に移譲になっており、今後さらに強化されるのでしょうか。
副市長	野田市では子ども支援室を設置しております。妊娠から18歳までを一元的に管理しております。 事件関係についても、保健師は常に心配してやっていただいておりますので、問題はあくまで児童家庭部門との連携、学校との連携、そういうようなところであると思っております。 母子保健については今後も、保健所との連携も必要だと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。
岡田会長	議題 5 「野田市児童虐待事件再発防止合同委員会」について説明を求めた。
児童家庭課課長補佐	<資料5 「野田市児童虐待事件再発防止合同委員会について」により説明する。
岡田会長	議題 5 について、委員に意見を求めた。
松本委員	二点質問があります。一点目は、スクールロイヤー制度、こういうのを置くというのは非常に重要だと思うのですが、継続検討になっている詳しい理由はなにか。 二点目は、警察OBの方に防犯推進員の役割を担ってもらっているが、その活用実績がないのは、警察のOBを使うまでの案件がないのか、まだ始まったばかりで実績がないということなのかという点です。
副市長	スクールロイヤー制度について継続審議となっている理由は、単なる相談を受ける弁護士ということではなく、学校の中に入り、学校のことをきちんと理解した上でやっていかなければ、本来のスクールロイヤーではないであろうとの指摘や、スクールロイヤーが現場に出向く件数が、少ないのではないかととの指摘に対応するためです。 指摘を踏まえ、現在検討しているところで、次回、理想の部分をしっかりと示させていただいた上で、弁護士そのものが少ないというような状況もございますので、現実的な対応はこうしたいということを示させていただきたいと考えております。 警察官OBの活用に関しては、基本的には警察との連携が一番だと思っております。この警察官OBの活用というのは、野田市は、

岡田会長	<p>市内に一か所、最近、交番の設置が縮小されていることもあって、「まめ番」を設置しておりますので、学校の先生方から、警察にお願いするまでのことではないかもしれないが、例えば保護者宅を訪問するのに、少し腰が引けるというようなときに、防犯推進員の方に一緒に同行してもらうことで、対応しやすくなるのではということで、行っているものです。</p> <p>そのため件数そのものは、もともとそんなに多くはないと考えており、いつでも行けるのだよという、背中を押す役目だと思っております。本当の対処、リスクが多い場合は当然、警察との連携でなければ対処できないと思っております。</p> <p>その他質問等がないため、午後3時20分閉会を宣言した。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------